

第6章 推進体制と基本目標

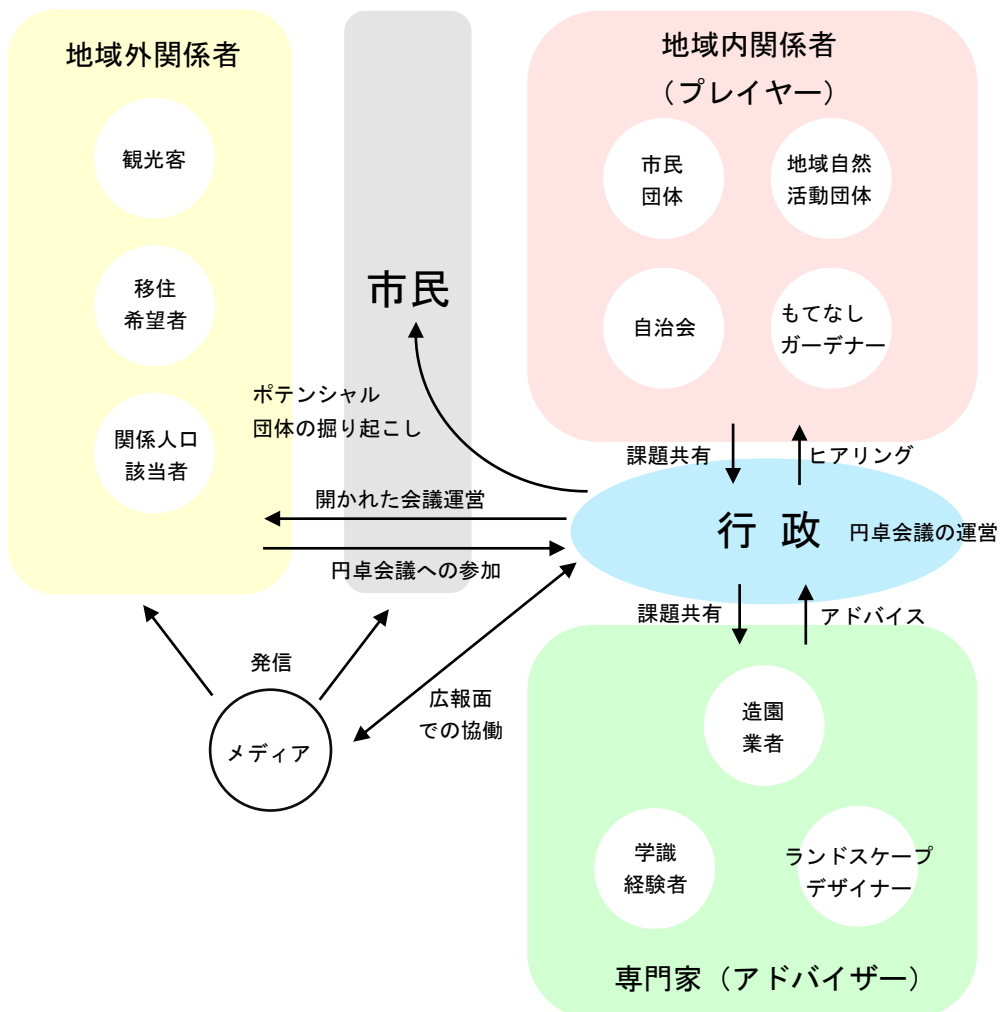
1) 水と緑の活用に取り組む体制の再構築

第1次プランでは、アドバイザーやガーデンシティ構想推進団体からなる「ガーデンシティ構想推進市民会議」を発足させ、ガーデンシティ構想を推進する体制としていたが、第2次プランにおいては、市民が主体となり水と緑の活用を図る推進体制を段階的に構築する。

1) -1 フェーズ1 推進体制検討期

フェーズ1では、行政が各地域団体や専門家らとの調整を図りながら、円卓会議を開催する。そこで得られた意見をまとめ、行政が担う部分と民間が担う部分の棲み分けを検討し、まちづくり系組織を中心とした体制への移行に向けた取組みを進める。

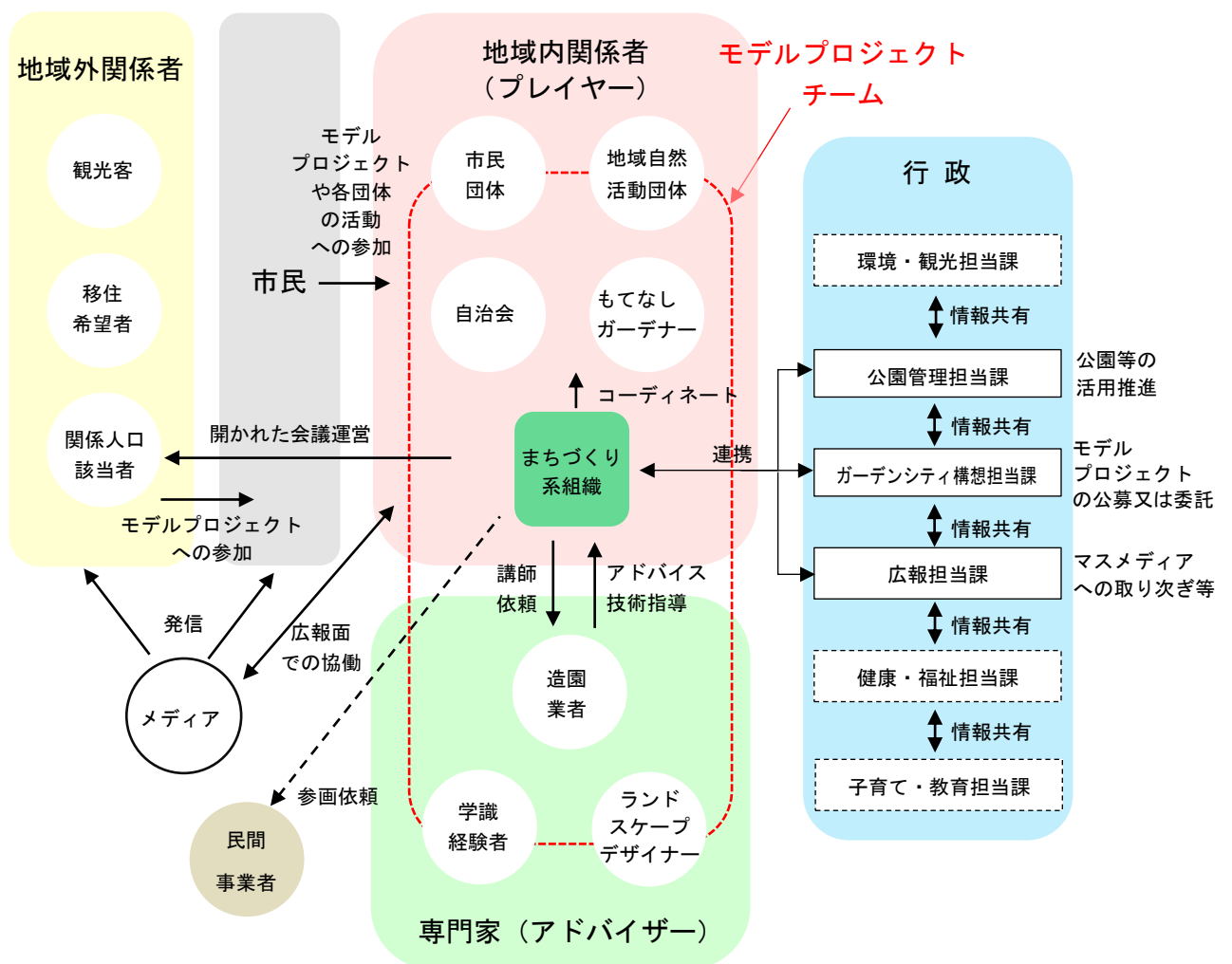
【運営体制図：フェーズ1】



1) -2 フェーズ2 モデルプロジェクト期

フェーズ2では、行政主導の体制からまちづくり系組織が中心となって、共有された地域の課題を基に、地域内関係者や専門家とともにモデルプロジェクトチームを発足し、モデルプロジェクトを実施しながら、体制の基盤づくりを図る。また、行政においては、ガーデンシティ構想担当課を中心に関係各課と連携し、収集された地域課題等の情報共有や、ガーデンシティ構想推進に向けた取組実施の検討など、中間支援組織設立へ向けた体制づくりをサポートする。

【運営体制図：フェーズ2】

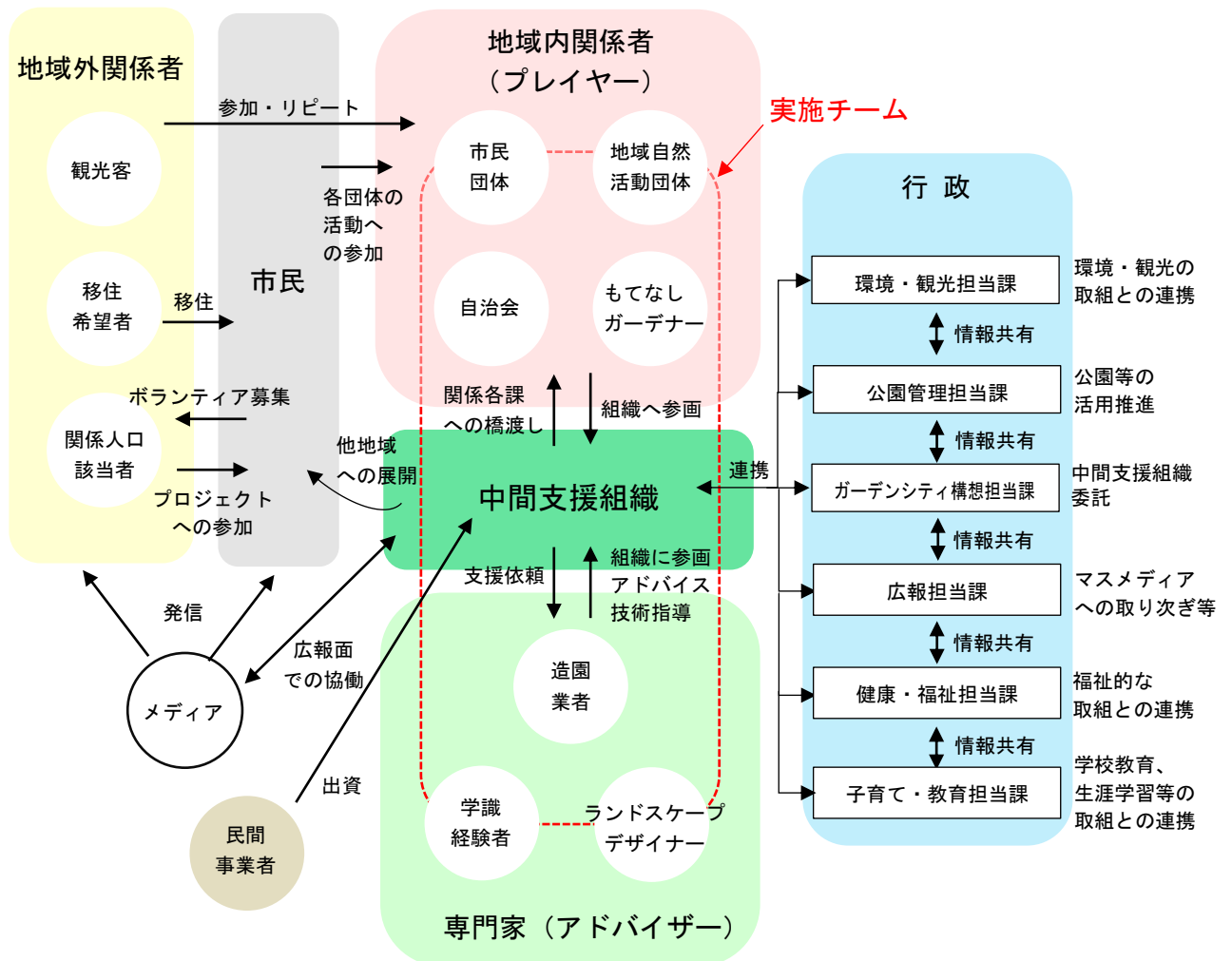


1) -3 フェーズ3 中間支援組織設立期

フェーズ3では、地域の関係団体の一部や専門家も実施チームに参画しながら、緑の中間支援組織のような、水と緑のフィールドにおける市民の自主的な活動をサポートする組織へ成長していく。それぞれが抱える課題やニーズを把握し、プロジェクトを実行していくガーデンシティ構想の推進母体として、関係各課と地域住民、専門家をつなぐ役割を果たす。また、行政においては、ガーデンシティ構想担当課のほか、関係各課も中間支援組織と連携し、ガーデンシティ構想推進に向けた取組の実施を図る。

計画期間終了時に、フェーズ3への円滑な移行を目指す。

【運営体制図：フェーズ3】



2) 構想推進団体へのサポート内容の拡充

これまで市が行っていた構想推進団体（もてなしガーデナー）の支援に加え、団体が継続的に活動できる仕組みを整える。また、市民の構想推進団体への参加をサポートする仕組みを拡充する。

支援施策	支援内容
みどりの相談窓口の設置	専門家に相談ができる窓口を設ける。
みどりの育成・活用方法の講習会の開催	緑化のみならず、活用の仕方を伝える講習会を行う。
持続可能なみどりの管理マニュアルの作成	構想推進団体と市民が意見交換を行う機会をつくり、ネットワークを形成する。
イベント開催の支援	水と緑を活用したイベントや団体運営資金を確保するためのイベントの企画・運営・広報の支援を行う。
植生に適した苗木の配布	加賀市の植生に適した持続性のある苗木を配布する（耐性アカマツなど）
ローカルメディアと連携した発信	構想推進団体になりうる市民に対しての発信をローカルメディアと連携し行う。

3) 基本目標

水と緑に関する現状を把握するため行った市民アンケート調査結果を基に、基本目標を設定する。また、計画の進捗状況について、円卓会議を通して、定期的にフォローアップする。

3) -1 「加賀市ガーデンシティ構想推進プラン」の認知度

本プランを推進するには、まず市民にプランの意義や内容を理解してもらうことが重要であるため、これを目標値とする。

「加賀市ガーデンシティ構想推進プラン」について「内容を理解している」と答えた人の割合									
現状 (令和4年)	10%								
目標 (令和9年まで)			30%						

3) -2 市内の水と緑に関する満足度

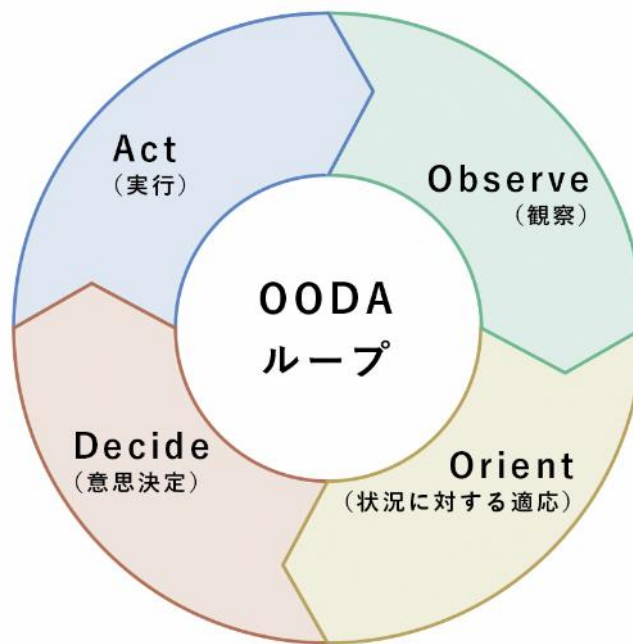
本プランの成果としては、市民が水と緑にどれだけ満足しているかが重要となるため、これを目標値とする。

「市内の水と緑に満足しているか」について「満足・やや満足」と答えた人の割合									
現状 (令和4年)			34%						
目標 (令和9年まで)					50%				

4) 計画の見直しについて

円卓会議等の機会で、本プランの取組を確認するが、日々変化するまちの情報や、コミュニティの活動状況を把握し、スピーディーかつより効果的に進めるために、OODA ループ(※)に即して実施する。

【OODA ループイメージ図】



※ Observe では、現場の状況から客観的な情報を収集し、Orient で具体的に状況分析を行い、対策を検討する。Decide では当事者である市民とともに意思決定を行い、Act でその計画を実行、そして再びその結果を観察する Observe に戻ってくる。計画づくりから始まるのではなく、現場の活動や声を基にプロジェクトを進めていくという点が従来の PDCA サイクルとは異なっている。

5) ロードマップ

第2次プランを推進する5カ年のロードマップは以下の通りとし、アクションプランを実施しながら、ガーデンシティ構想の実現を目指す。

